

平成30年度 多面的機能支払交付金 実施状況アンケート調査結果 (全体版)

配布数 1013 組織

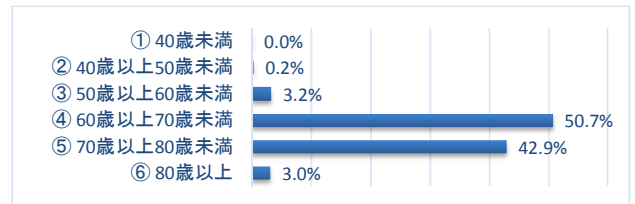
回答数 846 組織 回答率 83.5 %

問1 多面的機能支払交付金事業全般について、お聞かせください。

(1) 代表者の方の年齢について教えてください。(1つだけ○)

① 40歳未満	0	0.0%
② 40歳以上50歳未満	2	0.2%
③ 50歳以上60歳未満	27	3.2%
④ 60歳以上70歳未満	427	50.7%
⑤ 70歳以上80歳未満	361	42.9%
⑥ 80歳以上	25	3.0%

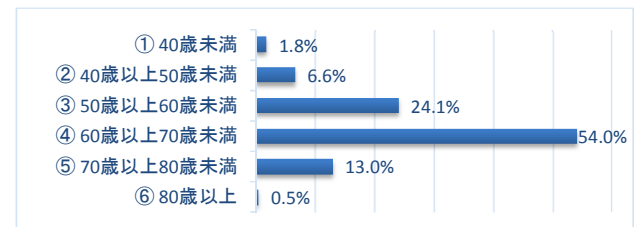
昨年度に比べ、全体的に年齢構成がスライドした形で上昇したようです。



(2) 書記(庶務)を担当されている方の年齢について教えてください。(1つだけ○)

① 40歳未満	15	1.8%
② 40歳以上50歳未満	56	6.6%
③ 50歳以上60歳未満	203	24.1%
④ 60歳以上70歳未満	455	54.0%
⑤ 70歳以上80歳未満	110	13.0%
⑥ 80歳以上	4	0.5%

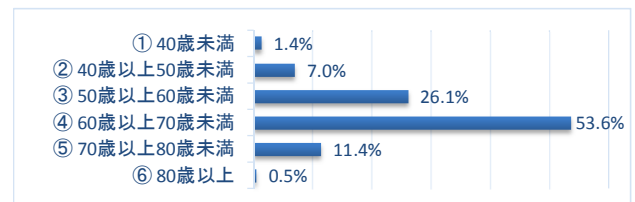
昨年度とほぼ同様の結果でした。



(3) 会計を担当されている方の年齢について教えてください。(1つだけ○)

① 40歳未満	12	1.4%
② 40歳以上50歳未満	59	7.0%
③ 50歳以上60歳未満	220	26.1%
④ 60歳以上70歳未満	451	53.6%
⑤ 70歳以上80歳未満	96	11.4%
⑥ 80歳以上	4	0.5%

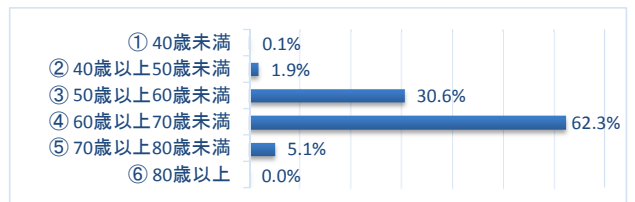
昨年度に比べ、年齢構成がスライドした形で僅かに上昇したようです。



(4) 構成員(草刈り等の基礎活動に参加されている方)の方々のおおよその平均年齢について教えてください。(1つだけ○)

① 40歳未満	1	0.1%
② 40歳以上50歳未満	16	1.9%
③ 50歳以上60歳未満	257	30.6%
④ 60歳以上70歳未満	523	62.3%
⑤ 70歳以上80歳未満	43	5.1%
⑥ 80歳以上	0	0.0%

昨年度とほぼ同様の結果でした。



(6) 女性の役員参加について教えてください。(複数○回答可)

① すでに「女性代表」	48	5.6%
② すでに「書記(庶務)、会計担当」	71	8.2%
③ 今後、役員への参加を検討	296	34.1%
④ 役員への参加は検討していない	454	52.2%

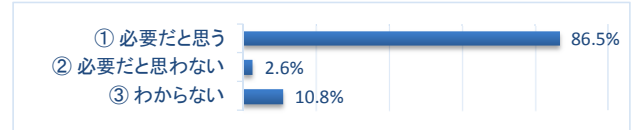
女性に役員への参加を検討されている組織が増えているようです。女性の活躍が期待されておりますので、ぜひご検討をお願いします。



(7) 集落営農又は担い手を育成するために、多面的機能支払の取組が必要だと思いますか。(1つだけ○)

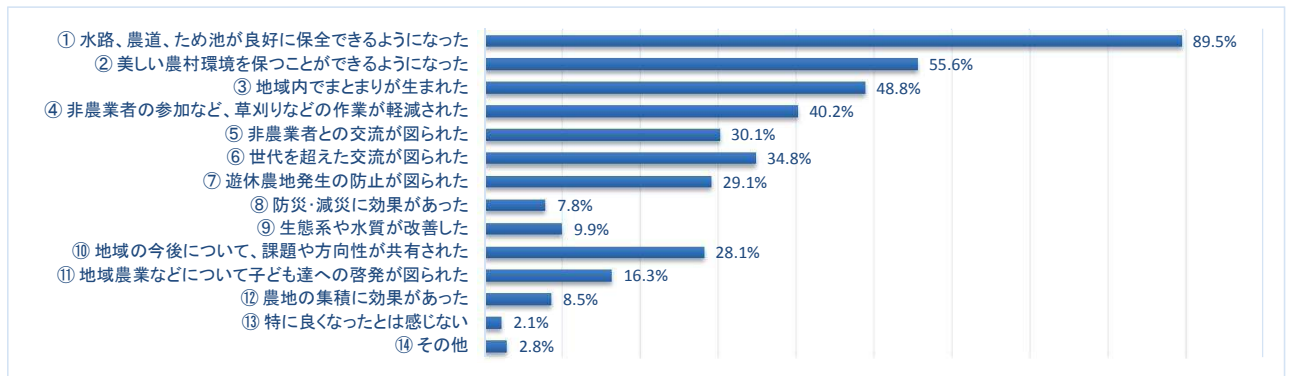
① 必要だと思う	720	86.5%
② 必要だと思わない	22	2.6%
③ わからない	90	10.8%

昨年度とほぼ同様の結果でした。



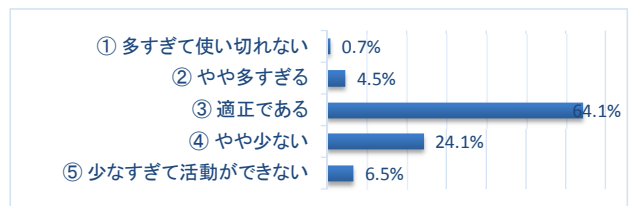
(8) 多面的機能支払交付金事業に取り組んだことにより、地域で「良くなった」と感じるものがあれば教えてください。(複数○回答可)

① 水路、農道、ため池が良好に保全できるようになった	757	89.5%
② 美しい農村環境を保つことができるようになった	470	55.6%
③ 地域内でまとまりが生まれた	413	48.8%
④ 非農業者の参加など、草刈りなどの作業が軽減された	340	40.2%
⑤ 非農業者との交流が図られた	255	30.1%
⑥ 世代を超えた交流が図られた	294	34.8%
⑦ 遊休農地発生の防止が図られた	246	29.1%
⑧ 防災・減災に効果があった	66	7.8%
⑨ 生態系や水質が改善した	84	9.9%
⑩ 地域の今後について、課題や方向性が共有された	238	28.1%
⑪ 地域農業などについて子ども達への啓発が図られた	138	16.3%
⑫ 農地の集積に効果があった	72	8.5%
⑬ 特に良くなったとは感じない	18	2.1%
⑭ その他	24	2.8%



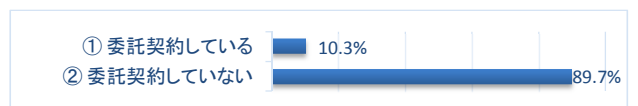
(9) 今年度交付された農地維持交付金及び資源向上交付金(共同活動)の額について、どのように考えていますか。(1つだけ○)

① 多すぎて使い切れない	6	0.7%
② やや多すぎる	38	4.5%
③ 適正である	539	64.1%
④ やや少ない	203	24.1%
⑤ 少なすぎて活動ができない	55	6.5%



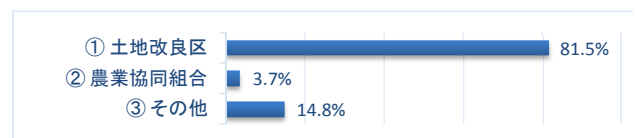
(10) 貴組織の事務の一部を委託契約していますか。(どちらかに○)

① 委託契約している	87	10.3%
② 委託契約していない	757	89.7%



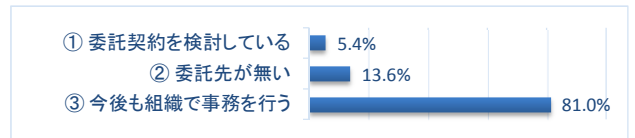
(11) 上記(10)で「1委託契約している」と回答した方のみお答えください。委託先はどちらの団体ですか。(1つだけ○)

① 土地改良区	66	81.5%
② 農業協同組合	3	3.7%
③ その他	12	14.8%



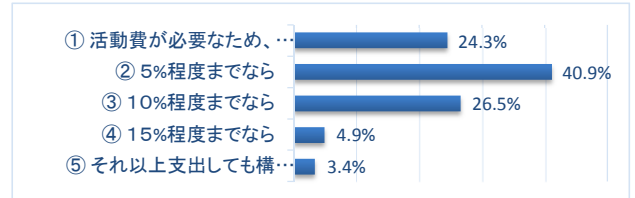
(12) 上記(10)で「2委託契約していない」と回答した方のみお答えください。今後、事務の一部を委託契約したいと考えていますか。(1つだけ○)

① 委託契約を検討している	40	5.4%
② 委託先が無い	101	13.6%
③ 今後も組織で事務を行う	601	81.0%



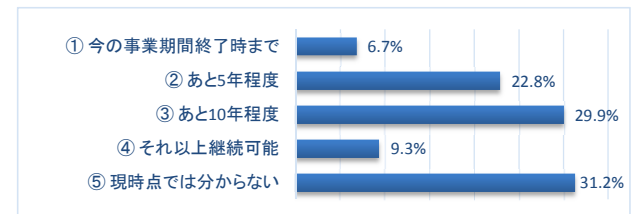
(13) 参考までにお教えてください。仮に貴組織の事務を外部に委託するとした場合、どのくらいの事務費が適当と考えますか。※事務を受けられる団体の有無は地域の実情により異なります。(1つだけ○)

① 活動費が必要なため、事務費を支出できない	193	24.3%
② 5%程度までなら	325	40.9%
③ 10%程度までなら	211	26.5%
④ 15%程度までなら	39	4.9%
⑤ それ以上支出しても構わない	27	3.4%



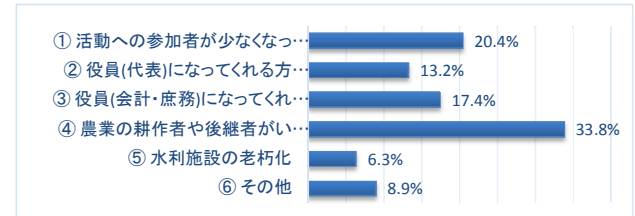
(14) 貴組織が安定的に活動を継続出来るのは、この先、おおよそ何年くらいまでと考えていますか。(1つだけ○)

① 今の事業期間終了時まで	57	6.7%
② あと5年程度	193	22.8%
③ あと10年程度	253	29.9%
④ それ以上継続可能	79	9.3%
⑤ 現時点では分からない	264	31.2%



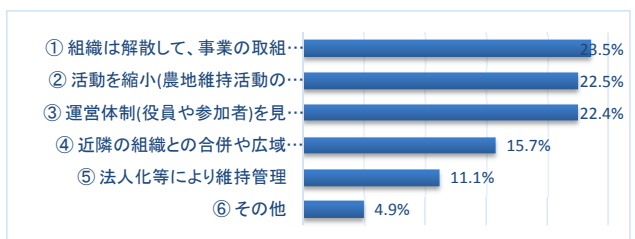
(15) 上記(14)で、そのように判断するのは主にどのような理由からですか。(複数○回答可)

① 活動への参加者が少なくなっている	290	20.4%
② 役員(代表)になってくれる方が見つからない	188	13.2%
③ 役員(会計・庶務)になってくれる方が見つからない	248	17.4%
④ 農業の耕作者や後継者がいない	480	33.8%
⑤ 水利施設の老朽化	89	6.3%
⑥ その他	127	8.9%



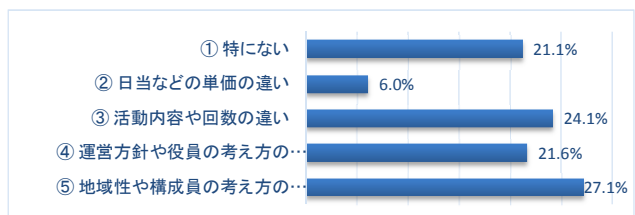
(16) 別へん(15)の回答に関連して、もし、組織の取組が「困難」となった場合、水路や農道、景観などの地域の保全をどのよつに実施していく予定ですか。(1つだけ○)

① 組織は解散して、事業の取組以前	193	23.5%
② 活動を縮小(農地維持活動のみなど)	185	22.5%
③ 運営体制(役員や参加者)を見直して	184	22.4%
④ 近隣の組織との合併や広域組織に参加	129	15.7%
⑤ 法人化等により維持管理	91	11.1%
⑥ その他	40	4.9%



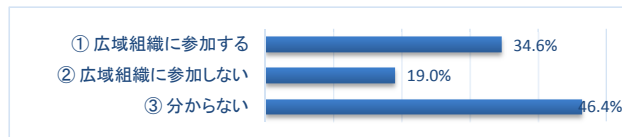
(17) 上記(16)で「4. 近隣の組織との合併や広域組織に参加して活動を継続する」と回答した方のみお答えください。合併や広域組織に参加する際に不安となるものはありますか。(複数○回答可)

① 特にない	42	21.1%
② 日当などの単価の違い	12	6.0%
③ 活動内容や回数の違い	48	24.1%
④ 運営方針や役員の考え方の違い	43	21.6%
⑤ 地域性や構成員の考え方の違い	54	27.1%



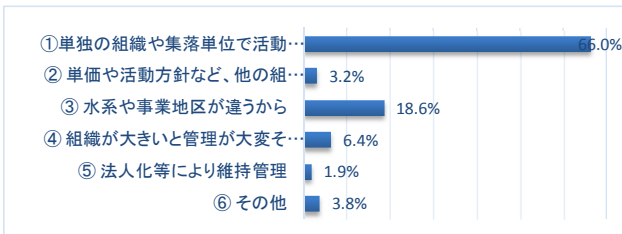
(18)参考までにお伺いします。将来、地域の一定のまとまりで広域組織へ移行する案が出た場合、貴組織は広域組織(協定)に参加しますか。(1つだけ○)

① 広域組織に参加する	286	34.6%
② 広域組織に参加しない	157	19.0%
③ 分からない	384	46.4%



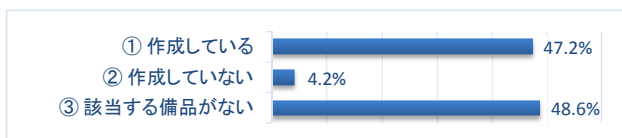
(19)上記(18)で「2. 広域組織に参加しない」と回答した方のみお答えください。参加しない理由は主にどのようなものですか。(1つだけ○)

① 単独の組織や集落単位で活動した方が	103	66.0%
② 単価や活動方針など、他の組織と	5	3.2%
③ 水系や事業地区が違うから	29	18.6%
④ 組織が大きいと管理が大変そうだから	10	6.4%
⑤ 法人化等により維持管理	3	1.9%
⑥ その他	6	3.8%



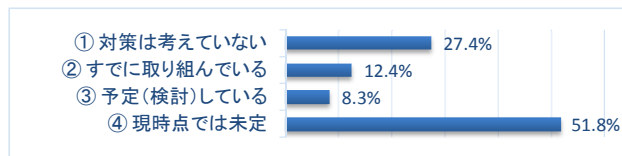
(20) 交付金で購入した器具・備品(金額に関係なく、長期間使用する器具・備品)について、備品台帳を作成していますか。(1つだけ○)

① 作成している	393	47.2%
② 作成していない	35	4.2%
③ 該当する備品がない	405	48.6%



(21) 農地維持支払、又は農地維持支払と資源向上支払(共同活動)の交付金を活用して、「施設の長寿命化のための活動」の取組を実施(日当の節減等により捻出できる範囲内で、施設の長寿命化のための活動を活動計画書に位置づけ、市町村から認定を受ける必要があります)することができますが、この方法で長寿命化対策の取組を実施する予定はありますか。(1つだけ○)

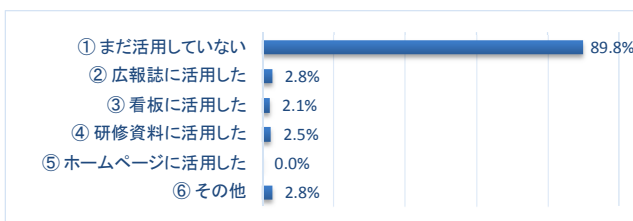
① 対策は考えていない	225	27.4%
② すでに取り組んでいる	102	12.4%
③ 予定(検討)している	68	8.3%
④ 現時点では未定	425	51.8%



この方法で長寿命化対策の実施を検討の際は市町村担当課まで必ずご相談ください。実施には総会等での合意、市町村の認定が必須です。

(22)平成29年度から国において多面的機能支払交付金に係る『ロゴマーク』と『キャッチフレーズ』が作られました。貴組織の活動実績について教えてください。(複数○回答可)

① まだ活用していない	775	89.8%
② 広報誌に活用した	24	2.8%
③ 看板に活用した	18	2.1%
④ 研修資料に活用した	22	2.5%
⑤ ホームページに活用した	0	0.0%
⑥ その他	24	2.8%

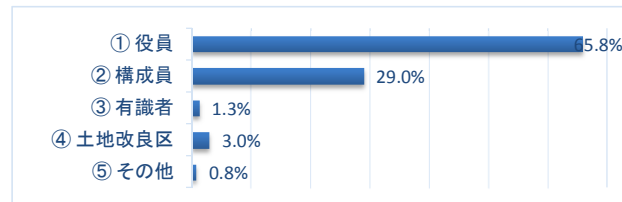


皆様の活動について、広く知っていただくため、ぜひご活用ください！

問2 農地維持支払の活動について、お聞かせください。

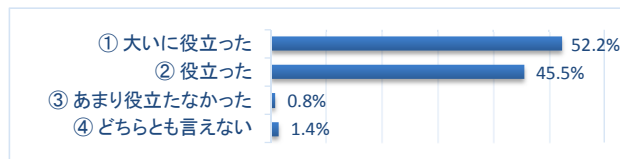
(1) 年度活動計画の策定に伴い、施設の「点検」はどなたが実施していますか。(複数○回答可)

① 役員	734	65.8%
② 構成員	324	29.0%
③ 有識者	15	1.3%
④ 土地改良区	34	3.0%
⑤ その他	9	0.8%



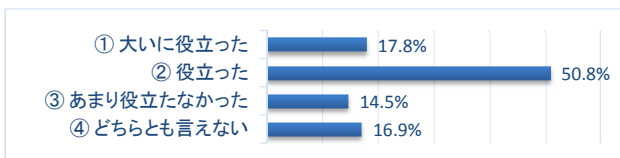
(2) 本交付金は農地、農業用施設(水路、農道、ため池等)の適切な保安全管理に役立ちましたか。(1つだけ○)

① 大いに役立った	438	52.2%
② 役立った	382	45.5%
③ あまり役立たなかった	7	0.8%
④ どちらとも言えない	12	1.4%



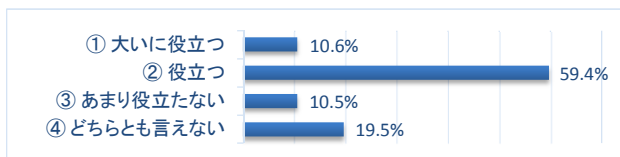
(3) 遊休農地の発生防止に、本交付金はその程度役立っていると思いますか。(1つだけ○)

① 大いに役立った	147	17.8%
② 役立った	421	50.8%
③ あまり役立たなかった	120	14.5%
④ どちらとも言えない	140	16.9%



(4) 平成26年度の多面的機能支払交付金事業から新しく活動要件となった『地域資源の適切な保安全管理のための推進活動(農業者による検討会、地域住民等との意見交換会、農業者・地域住民等への意向調査など)』(毎年度1回以上実施)は、これからの地域資源の保安全管理に役立つと思いますか。(1つだけ○)

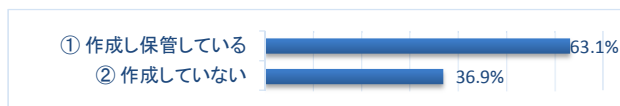
① 大いに役立つ	88	10.6%
② 役立つ	493	59.4%
③ あまり役立つしない	87	10.5%
④ どちらとも言えない	162	19.5%



昨年度は、①と②として約6割の回答がありましたが、今年度は7割に増加しました。
この「推進活動」を通じて地域の今後の課題を整理することが重要であることが確認された結果と推察されます。

(5) 上記(4)の『地域資源の適切な保安全管理のための推進活動』を行った際の資料、会議録及び調査結果等を作成し保管していますか。(どちらかに○)

① 作成し保管している	508	63.1%
② 作成していない	297	36.9%



昨年度に比べ、「①作成し保管している」と回答された組織がやや増加しています。
推進活動については、「自己評価」などにおいても継続した効果の推移を確認

(6) 上記(4)の『地域資源の適切な保安全管理のための推進活動』を通じて、活動期間中に「地域資源保安全管理構想」として、適切な保安全管理に向けて取り組むべき活動・方策等をとりまとめるよう義務づけられていますが策定しましたか。(どちらかに○)

① 既に策定している	306	38.1%
② 今後、策定する	498	61.9%

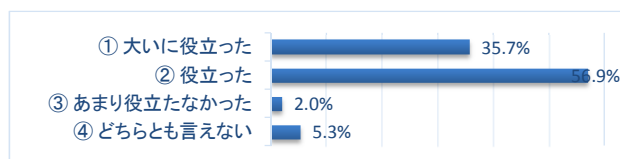


〈 資源向上支払(共同活動)に取り組んでいる組織のみ記入して下さい。 〉

問3 資源向上支払(共同活動)の「施設の軽微な補修」について、お聞かせください。

(1) 農地、農業用施設(水路、農道、ため池等)の補修に役立ちましたか。(1つだけ○)

① 大いに役立った	194	35.7%
② 役立った	309	56.9%
③ あまり役立たなかった	11	2.0%
④ どちらとも言えない	29	5.3%

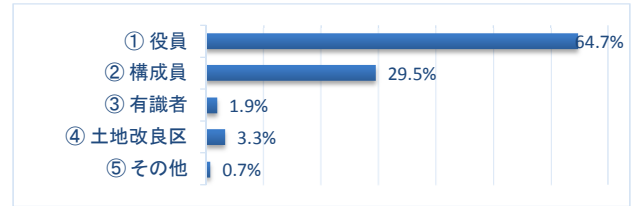


(2) 年度活動計画の策定に伴い、施設の「機能診断」はどなたが実施していますか。(複数〇回答可)

① 役員	476	64.7%
② 構成員	217	29.5%
③ 有識者	14	1.9%
④ 土地改良区	24	3.3%
⑤ その他	5	0.7%

今年度、新たに追加した設問です。

地域の農業用水利施設などの状況について、役員や構成員が中心となって実施しているようですが、必要に応じて専門家に意見を聞くことも重要です。



(3) 機能診断の結果、貴活動組織では「軽微な補修」を実施(又は実施予定)しましたか。(どちらかに〇)

① 実施した(又は実施予定あり)	464	85.6%
② 実施していない(又は実施予定なし)	78	14.4%



(4) 上記(3)で「1. 実施した(又は実施予定あり)」と回答した方のみお答えください。
農業用施設の補修を行う場合、どなたかに技術的な指導を受けていますか。(どちらかに〇)

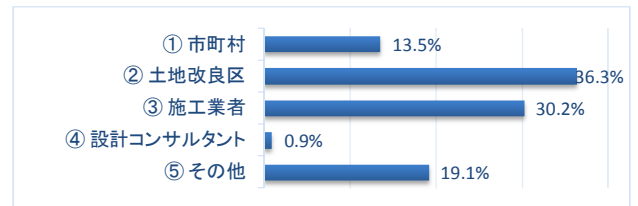
① 受けている	163	35.0%
② 受けていない	303	65.0%



(5) 上記(4)で「1. 受けている」と回答した方のみお答えください。それはどちらの団体からですか。(複数〇回答可)

① 市町村	29	13.5%
② 土地改良区	78	36.3%
③ 施工業者	65	30.2%
④ 設計コンサルタント	2	0.9%
⑤ その他	41	19.1%

昨年度に比べ、市町村や土地改良区からの技術的な助言を受けている組織が減っていますが、地域の農業用水利施設を長く保全管理していくためにも、必要に応じて助言を受けてください。

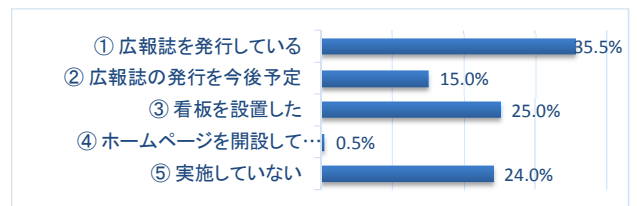


問4 資源向上支払(共同活動)の「農村環境保全活動」について、お聞かせください。

(1) 広報活動を今年度を実施していますか。(複数〇回答可)

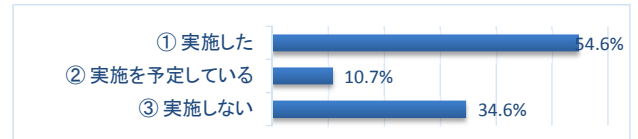
① 広報誌を発行している	216	35.5%
② 広報誌の発行を今後予定	91	15.0%
③ 看板を設置した	152	25.0%
④ ホームページを開設している	3	0.5%
⑤ 実施していない	146	24.0%

皆さまの活動や地域を保全管理していく上での課題など、地域内外の方々にお知らせし、共有していくことは大変重要です。
広報誌や看板設置のほか、回覧や集会所の掲示版を活用するなど、たくさんの方々がこの活動を理解し参加してくれるよう広報しましょう。
また、インターネットを活用したホームページ制作やSNS(会員制のコミュニケーションツール)の活用など、発信方法は様々です。



(2) 地域住民等との交流活動、学校教育、行政機関等との連携を今年度を実施しましたか。(1つだけ〇)

① 実施した	295	54.6%
② 実施を予定している	58	10.7%
③ 実施しない	187	34.6%

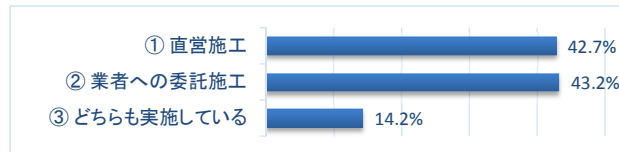


〈 資源向上支払（長寿命化）に取り組んでいる組織のみ記入して下さい。〉

問5 農業用施設の資源向上支払（長寿命化）の取り組みについて、お聞かせください。

(1) 工事は、地域のみなさんでの直営施工ですか。業者への委託施工ですか。(1つだけ○)

① 直営施工	72	42.7%
② 業者への委託施工	73	43.2%
③ どちらも実施している	24	14.2%



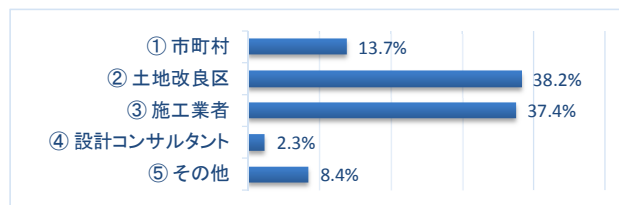
(2) 施工箇所の設計や工事の際に、どなたかに技術的な指導等を受けていますか。(どちらかに○)

① 受けている	101	60.5%
② 受けていない	66	39.5%



(3) 上記(2)で「1 受けている」と回答した方のみお答えください。それはどちらの団体からですか。(複数○回答可)

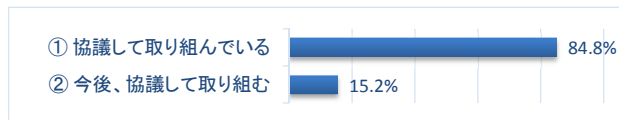
① 市町村	18	13.7%
② 土地改良区	50	38.2%
③ 施工業者	49	37.4%
④ 設計コンサルタント	3	2.3%
⑤ その他	11	8.4%



(4) 対象施設の補修・更新を行う場合、施設の財産管理者、底地所有者と協議して取り組んでいますか。(どちらかに○)

① 協議して取り組んでいる	134	84.8%
② 今後、協議して取り組む	24	15.2%

施設の補修や更新には、施設の管理者や所有者に事前にどのような工事を実施するかあらかじめ協議し、「工事に関する確認書(実施要領様式第1-12号)」を取り交わす必要があります。



(5) 更新を行った施設については、財産管理台帳を作成し、市町村等に譲渡するよう指導していますが、財産管理台帳を作成し、財産譲渡していますか。(1つだけ○)

① 台帳を作成し、財産譲渡している	57	36.5%
② 台帳は作成、財産譲渡はしていない	41	26.3%
③ 該当なし	58	37.2%

